

平成30年度 大牟田市社会福祉協議会 歴木保育所自己評価

平成30年4月1日に施行された保育所保育指針において、「保育所は保育の質の向上を図るため、保育の計画の展開や保育士等の自己評価を踏まえ、自ら評価を行い、その結果を公表するよう努めなければならない。」ことが明記されています。このことに基づき、歴木保育所では自己評価を実施し、その評価の結果を昨年度より公表し、その結果を踏まえ、今後も保育内容等の充実を図ってまいります。

<評価について>

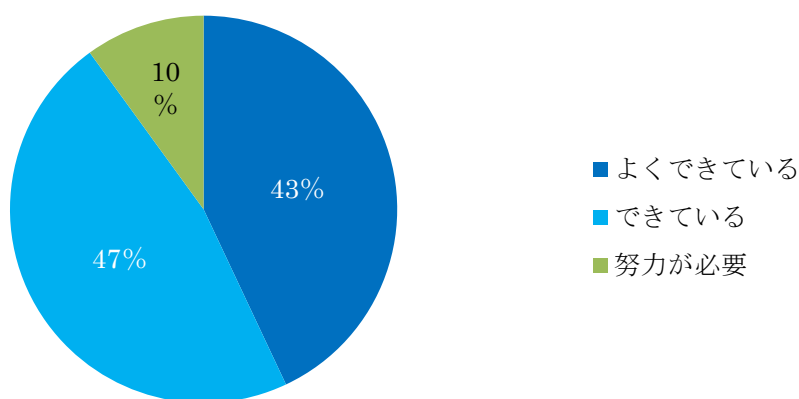
評価をするにあたっては、以下のような基準で評価を行っています。

イ. よくできている ロ. ほぼできている ハ. 努力が必要

尚、本園で採用しているチェックリストは、日本保育協会が作成したものです。設問は206問に及ぶため、各項目の一部を参考までに紹介しています。

1. 保育の理念・保育観

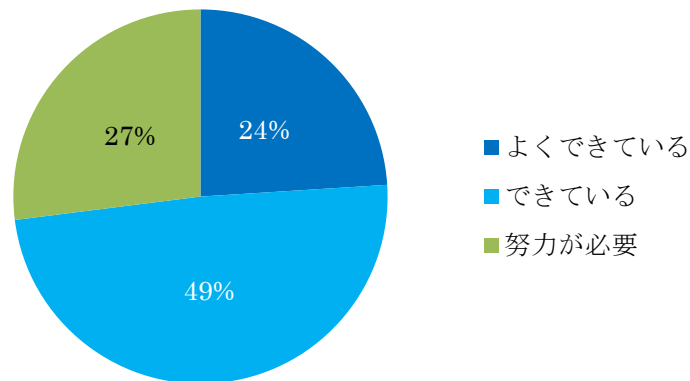
- 1) あなたは、すべての子どもについて、一人ひとりの存在とその人権を尊重していますか。
- 2) 児童福祉法の理念に基づき、子どもの最善の利益を考慮して、子どもの生活と健全な発達を保障する事が保育所の重要な使命だと理解していますか。
- 3) あなたは、日頃から「保育所保育指針」をよく読み、その理念を理解したうえで、保育内容や保育方法を考えるときのガイドラインとしていますか。
- 4) あなたの保育が、子どもの生涯の基礎を培う極めて大切な役割を担っていると認識していますか。
- 5) 今日の保育園には、入園している子どもの保育だけでなく、広く地域の子育て支援をする社会的役割があることを認識していますか。 (他 12 問)



2. 保育の内容

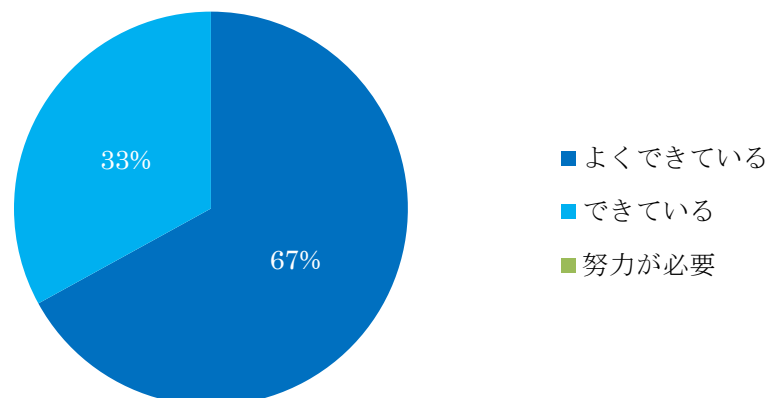
1) 保育計画・指導計画

- (1) あなたは、指導計画を作成する時、「保育所保育指針」を読み、参考にしていますか。
- (2) あなたは、保育所の方針である保育計画をもとにして、指導計画を作成していますか。
- (3) 保育には指導計画(年・月・週・日案など)の作成というあらかじめ見通しをもった計画性が必要だと思いますか。
- (4) 複数担任の場合、よく話し合ってお互いの考えを十分に理解した上で、月・週・日案などを立てていますか。
- (5) あなたは、季節感や日本の伝統的な行事などを指導計画のなかに取り入れるようにしていますか。 (他7問)



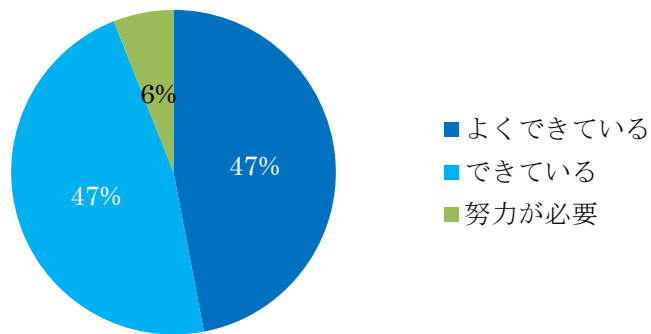
2) 乳児保育

- (1) 授乳について、その子が欲しがるときに優しく抱いて微笑みかけ、ゆったりと飲ませていますか。
- (2) 離乳食は、家庭と連携をとりながら、一人ひとりの育ち具合やその日の体調に合うように工夫していますか。また食物アレルギーの子どもに対して、細心の注意を払っていますか。
- (3) おむつ交換は「きもちいいね」などとやさしく声をかけたり、マッサージしたりして、排便の回数、便性を把握して臀部を清拭していますか。
- (4) 赤ちゃんの目の動き、泣き声、しぐさ、片言をメッセージとして受け止め、ほほえみ、要求に応じる言葉をやさしく返していますか。
- (5) あなたがどんな状態にあるときでも、赤ちゃんの笑顔やしぐさをかわいいと感じることができますか。 (他10問)



3) 3歳未満児保育（1・2歳児保育）

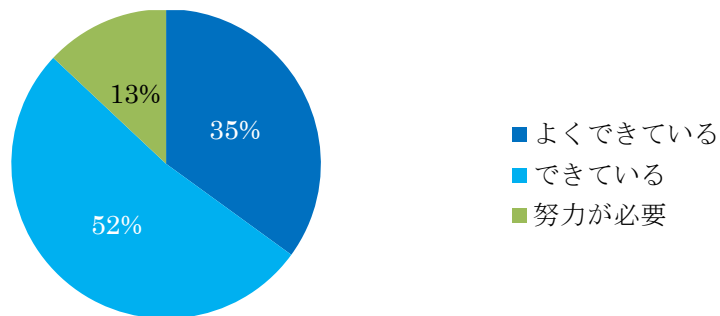
- (1)「できない、やって！」と甘えてくる時は、その都度、その子の気持ちを受け止め、一人ひとりの発達に応じて要求を満たす援助をしていますか。
- (2)あなたはこどもの「これなーに？」、「どうして？」などの繰り返しの質問に、忙しい時でも出来るだけその都度答えようとしていますか。
- (3)着替えや食事などの時には、その子に応じた手助けや言葉かけをしながら、時間を要しても自分からしようとする気持ちを大切にしていますか。
- (4)食べ物をこぼしたり汚したりしながらも、子どもが自分で食べる意欲を育てるために、楽しい雰囲気ですごせることを第一に考えていますか
- (5)子どもがおもちゃの取り扱いなどでぶつかり合う時、危険のないよう配慮しつつ子どもの発達の程度や心の動きを考えながら、しばらく見守ることができますか。 (他10問)



4) 3歳児以上保育

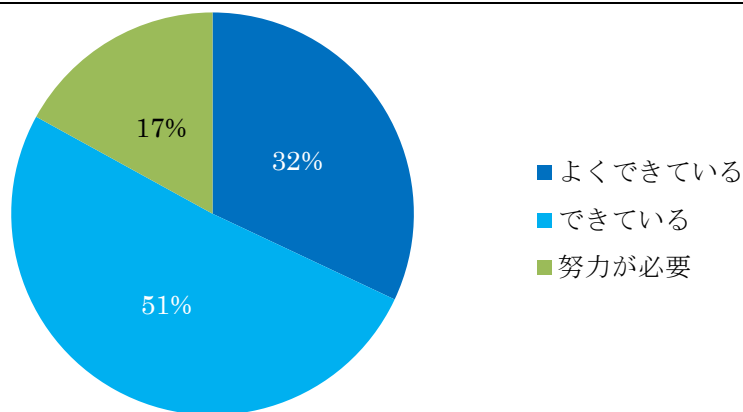
ア. 基礎的事項

- (1)あなたは、子どもが安心して自分の気持ちを伝えられるように、いつも心を開いて、信頼関係を作るように努力をしていますか。
- (2)子どもが自己表現できるように、その時々々の要求や気持ちを読み取り、どの子も自分が愛されていると実感できるように接していますか。
- (3)少しでも普段と違う具合の悪そうな子供に気付いたら、自分から体の不調を訴えられるように、優しく問いかけていますか。
- (4)日常の生活でのしぐさをよく観察して、行動や身体の異常などの早期発見に努めていますか。
- (5)季節感を味わえる環境を整えたり、心地よい音楽を流すなど、なごやかにくつろいで過ごせる室内の環境づくりを心掛けていますか。 (他5問)



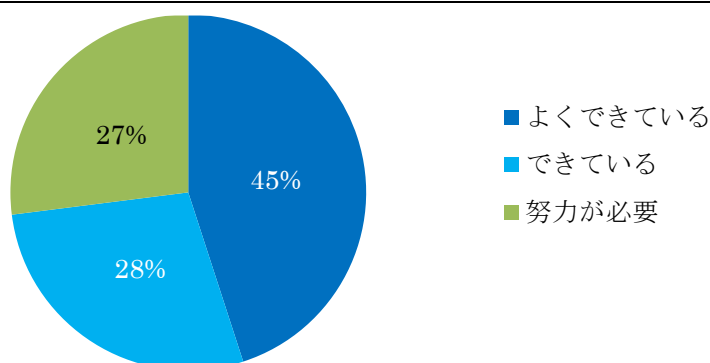
イ. 健康

- (1)あなたは、「食育」の考え方を大切にし、食事を「楽しく・おいしく」味わえるように、テーブルの配置や飾り付けなども工夫していますか。
- (2)おもらしをしたり、排泄の後始末がうまくいなくても、さりげなく対応し、自分で出来るように個別の指導がなされていますか。
- (3)子どもたちが快い疲労感を感じて昼寝に入れるよう、十分な遊びの場や時間をもうけるようにしていますか。
- (4)清潔でいることは気持ち良いことと子どもが知るために、手洗い場、トイレなどをいつもきれいにしていますか。
- (5)子どもがいろいろ楽しさを味わうため、散歩など戸外に出かける機会を積極的に多く取り入れていますか。(他7問)

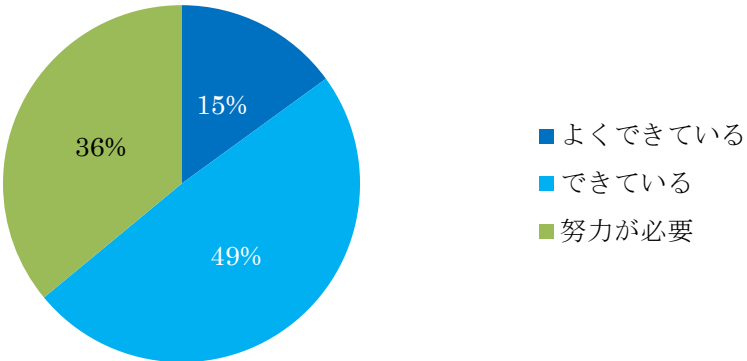


ウ. 人間関係

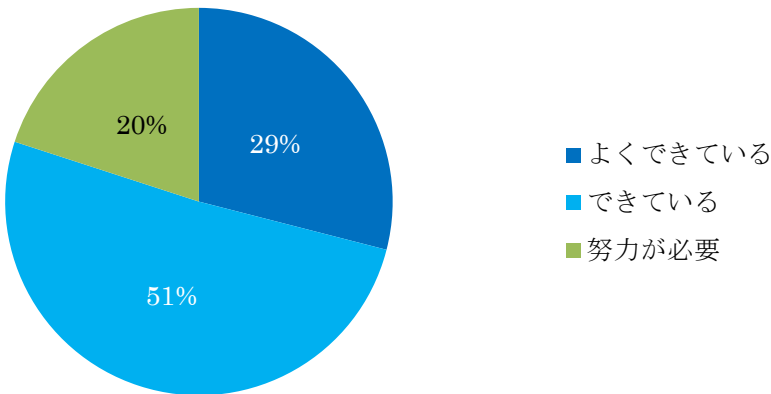
- (1)「保育園の先生が好きだ」といった幸福感を味わえるために、子どもが充実できる活動や場を日頃から用意していますか。
- (2)あなたは、子どもが嬉しい時や悲しい時、また困ったり戸惑ったりした時に、それを伝えたい存在となっていますか。
- (3)自己を表現する力や相手の言う事を聞く姿勢がもてるよう、あなたはそれぞれの子どもの立場や気持ちをくみ取った仲立ちをしていますか。
- (4)一人ひとりの興味や発達に応じた取り組みをして、子どもたちが一緒に関わりあう喜びを味わう場や機会を用意できていますか。
- (5)子どもたちのけんかやぶつかり合いを、友達を知る機会や、社会性が育つ課程として受けとめ、その育ちを見守ることができますか。(他4問)



エ. 環境

(1) 庭や散歩で拾ってきた木葉・木の実など、いろいろな物を比べたり調べたりして、自然の不思議さやおもしろさを子どもたちと共感するとともに、物の性質や数・量などに対する興味を育てていますか。
(2) 春に花が咲き、冬には葉が落ちるなど自然の営みについての子どもの疑問にわかりやすく答えることができますか。
(3) 子どもの質問や疑問に、すべて答えたり、すぐに回答を出すのではなく、実物を見せたり図鑑などで調べたりする誘いかけもしていますか。
(4) あなたは、最近の社会の出来事に目を向け、理解した上で、子どもの興味・関心に沿うかたちでわかりやすく説明することができますか。
(5) 子どもが自由に取り出して遊べるよう、遊具・用具などの構成を整え、その量や補充を工夫していますか。(他3問)
 <p>■ よくできている ■ できている ■ 努力が必要</p>

オ. 言葉

(1) 言葉は、コミュニケーションや思考・行動のために不可欠なものであることを認識し、幼児期に言葉を豊かに身につけられるように努力していますか。
(2) 子どもが登園してきたとき、いつもさわやかに挨拶をし、その時々に必要な言葉をかけるようにしていますか。
(3) 絵本や童話を読み聞かせる時は文章の美しさや言葉のリズムの面白さに気を配り、その物語性や、伝統の素晴らしさを伝えるようにしていますか。
(4) 紙芝居や絵本の読み聞かせで、子どもが感動したり創造力を膨らませるように、あなた自身もその内容を楽しんでいますか。
(5) 子どもが話しかけてきた時、その内容や結論がわかっているにもかかわらず、ゆっくり聞いて会話したい気持ちを満たし、言葉で伝えあう場を大切にしていますか。(他6問)
 <p>■ よくできている ■ できている ■ 努力が必要</p>

カ. 表現

(1) 見たこと、感じたものに対して、言葉、絵、造形、身体、音などその子が最も好きな、得意とする方法で表現する事を大事にしていますか。
(2) あなたは、絵などの作品に、その子の喜びや悲しみ、驚きなどの感動を読み取ろうとしていますか。
(3) 子どもが自分の作品を大切にされていると感じられるように、展示の仕方などを工夫していますか。
(4) ハサミなど危険を伴う道具には、正しい使い方や後片付けの仕方を日常的に指導していますか。
(5) 子どもたちの遊びに、身体を使った様々な表現遊びを多く取り入れていますか。 (他6問)

Response	Percentage
よくできている	11%
できている	52%
努力が必要	37%

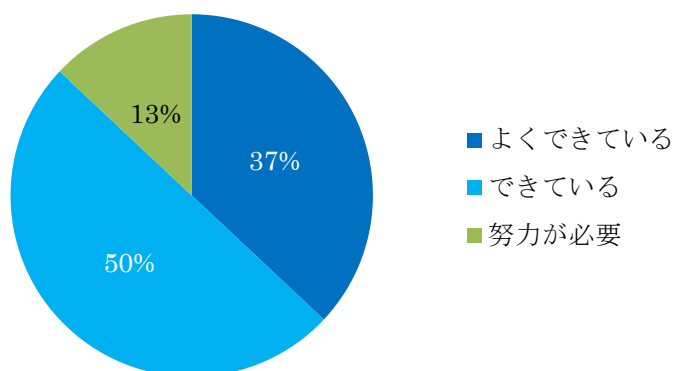
5) 特別な配慮や支援を必要とする子どもの保育

(1) 保育園は、障害を持つ子どもそうでない子ども「共生」「共育」の観点から、当たり前のこととして保育するという考え方にあなたは共感しますか。
(2) 日常的に障害児の保護者との話し合いの場を設けて、不安や焦りなど悩みを抱えている保護者の気持ちの援助に心がけていますか。
(3) 就学に向けて相談する障害児の保護者に対して、保護者が自分で方向を決めていけるように相談に応じたり、情報提供をしていますか。
(4) あなたは、障害児もそうでない子ども互いの良さを感じとり、楽しく交流できる雰囲気づくりに励んでいますか。
(5) 障害児保育をより豊かにする為に、子どもたちにふさわしい環境・物的環境を整える努力をしていますか。(他7問)

Response	Percentage
よくできている	37%
できている	39%
努力が必要	24%

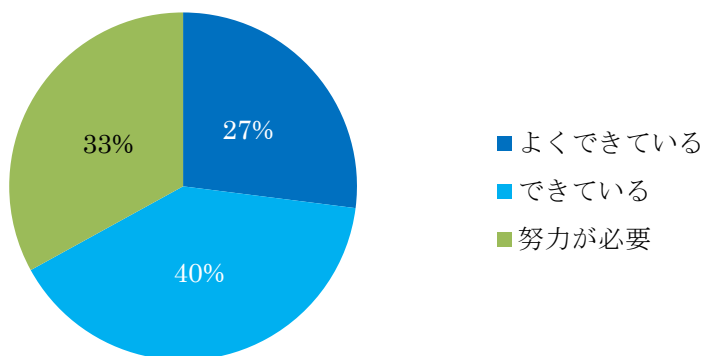
6) 行事

- (1) あなたは、園が従来から続けてきた「行事」について、その意味について十分に考えてから、保育の中に組み込んでいますか。
- (2) 「行事」を保育に取り入れる時には、それが子どもの健やかな育ちに繋がる意味をもつことを認識していますか。皆で楽しむとともに、一人ひとりが十分に自分の力を発揮できるような「行事」となっていますか。
- (3) 保護者が参観する「行事」のときには、保護者の評価にあまりとらわれず、日常の子どものありのままを見てもらう気持ちのゆとりをもっていますか。
- (4) 「行事」に参加する事を嫌がる子どもには、その気持ちをくみ取って、行事の中でその子が活動できる場面を用意していますか。
- (5) あなたは「行事」が、子どもの生活や遊びから発展していくように、日常の保育の積み重ねの結果となるよう心がけていますか。 (他5問)



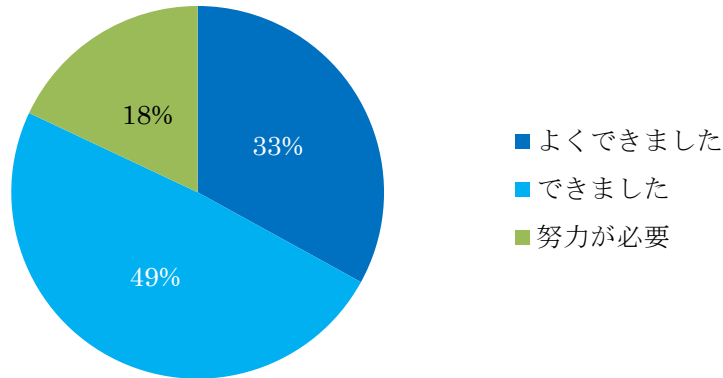
7) 延長保育

- (1) 長時間にわたる保育を受ける子どもには、特に畳やカーペットで寝転ぶことが出来るようにするなど、家庭的雰囲気配慮していますか。
- (2) 次々にお迎えが来る中で、「ママ来ないね」のつぶやきに対して、その子の気持ちを受け止めて、安定した気持ちで待つことが出来るよう適切な対応をしていますか。
- (3) あなたは延長保育で、一人ひとりが好きな遊びが出来るように配慮していますか。
- (4) 延長保育の子どもには、担任でなくとも、園での様子が保護者に十分伝わるよう、連絡ノートやお便りを活用していますか。
- (5) 延長保育の時間帯には、とりわけ異年齢の子ども同士で遊べるような工夫をしていますか。 (他5問)



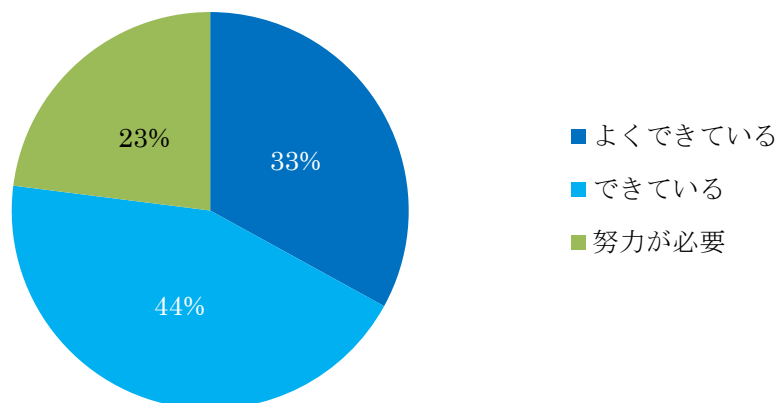
3. 保健活動・安全管理

- (1) その子の体調の些細な変化や異常に速やかに対応するために、日常的な体調や機嫌の状態をつかむよう努めていますか。
- (2) あなたは、健康観察で子どもの健康状態をある程度判断する事が出来ますか。
- (3) こども一人ひとりの体調をしっかり把握し、食事の量や内容を変えるなどの配慮をしていますか。
- (4) あなたは、睡眠中の子どもの顔色、呼吸の状態を観察するなど、SIDS等への予防に努めていますか。
- (5) アトピー症皮膚炎・食物アレルギー等の子どもに対し、医師の指導のもとに適切な対応をしていますか。 (他9問)



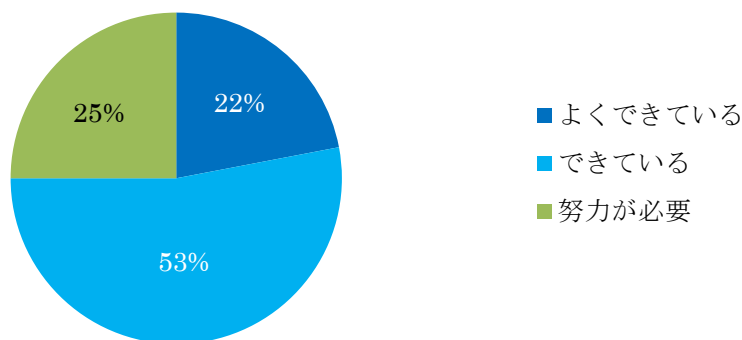
4. 保護者・地域社会・関係機関との連携

- (1) 園での様子を伝え家庭での様子を聞くなかで、子どもの育ちを保護者と共に、考え、喜び合うことができますか。
- (2) その日の子どもの健康状態や興味を持った遊びなど、必要に応じてお迎え時に保護者に丁寧に伝えるように努めていますか。
- (3) 保護者が育児の悩みや心配事を話してみたくなり、一緒に考えてくれる存在であると思えるよう、あなたはこちらから進んで触れ合う事を心掛けていますか。
- (4) あなたは、連絡帳を、保護者がその内容をよく理解でき、楽しみにするような書き方をしていますか。
- (5) 散歩や行事などで、子どもたちが地域の人々と触れ合う機会を持つようにするとともに、気持ちよく挨拶を交わしていますか。 (他12問)



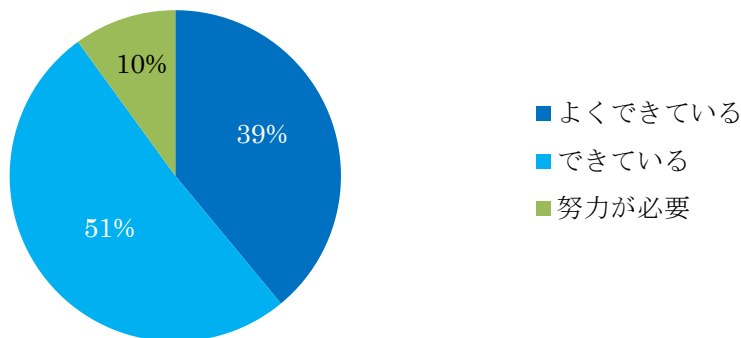
5. 地域の子育て支援

- (1)あなたは、日頃の保育内容、子どもたちへの保育方法のすべてが、地域の子育て支援につながることを、自覚していますか。
- (2)あなたは、保育園には子育て相談などの「地域の子育て支援」という役割が求められていることを受け止め、自分も積極的にかかわりたいと考えていますか。
- (3)あなたは、子育て相談を実施する際に連携すべき機関など(保健センター・児童相談所・福祉事務所・医療機関等)の機能について良く知っていますか。
- (4)あなたは、子育てサークル・子育てボランティアの育成・支援に関心があり、勤務園が実施する時には、協力するつもりですか。
- (5)保育園が発信元になって、園の保護者以外にも子育ての大切さや喜びを伝える役割を担っていることを理解していますか。 (他2問)



6. 保育園の職務・役割分担

- (1)登園を嫌がるが続くなど、問題を感じた時、あなたは園長や主任、先輩保育士などに、その原因や対策の仕方を相談していますか。
- (2)栄養士など保育士以外の職種の人たちが保育に関る時、その人たちへの気配りや協力関係に配慮するとともに、保育所としてのあなたの役割が何であるか理解していますか。
- (3)あなたは、欠勤した日の出来事や連絡事項は、自分から尋ねて理解するなど、職員間の連携に努めていますか。
- (4)あなたは、自分のクラスの教材や備品を、責任を持って毎日点検・管理していますか。
- (5)あなたは、たとえ自分のクラスのものでなくても、教材・教具などの管理が不備であれば、自ら進んで整えることが出来ますか。 (他6問)



7. 保育士としての資質向上

(1)あなたは、保育士としての責務と誇りを自覚して、人間性と専門性の向上に努めていますか。

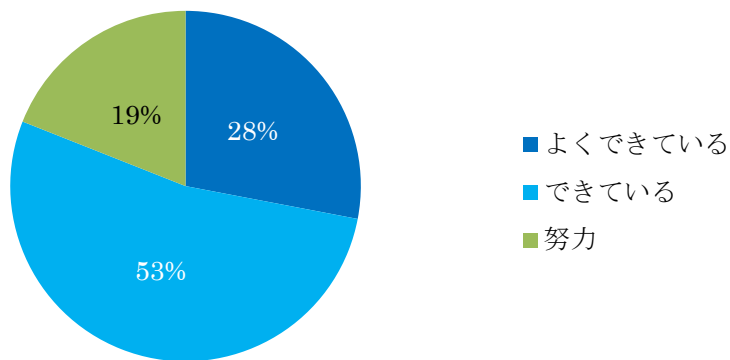
あなたは、その日の子ども一人一人の活動や姿を、しっかり記録に留めることができますか。

(2)あなたは研修で得た内容・成果は、園の職員に分かるように丁寧に説明し、意見交換をするために役立てていますか。

(3)あなたは、保育の悩みや疑問を解決するために、研究・専門書を見つけて、そこから学ぶことができますか。

(4)あなたは保育実践について、園長はじめ他の職員が把握できる保育日誌などの記録が書けていますか。

(5)自分の保育に対する同僚や上司からの批評や意見を、感情的にならず謙虚に聞き、ときには反省する事が出来ますか。 (他7問)



8. 総平均

